

授業概要

「王朝の文化と文学」をテーマとし、平安時代の生活や、文学に関わりの深い周辺文化について講義します。平安時代の文学作品には、当時の人々の生活様式や風俗のありようをうかがい知れる描写が数多く見受けられます。その中には、現代の私たちにも馴染み深いものもありますが、あまり馴染みのないものも少なくありません。しかし、作中に記されている文化や風習が具体的にイメージできなければ、作品を当時の読み解くことはできません。

本授業は、以上のような問題意識のもと、さまざまな王朝文化を学びます。また、平安時代の古筆や、平安朝文学を絵画化した後代の物語絵の鑑賞方法についても、併せて講義したいと思います。

授業計画

第 1 回	平安時代の貴族社会についての基礎知識
第 2 回	葵祭について
第 3 回	『源氏物語』における葵祭
第 4 回	伊勢斎宮・賀茂斎院について
第 5 回	『伊勢物語』に見る伊勢斎宮の恋
第 6 回	古代の染色（草木染め）について
第 7 回	『伊勢物語』初段の「若紫の摺り衣」
第 8 回	かさねの色目について
第 9 回	王朝装束（特に女性の装束）について
第 10 回	平安時代の歌合について
第 11 回	『栄花物語』の皇后宮春秋歌合
第 12 回	『伊勢物語』の物語絵① 「東下り」の段など
第 13 回	『伊勢物語』の物語絵② 「筒井筒」の段など
第 14 回	古筆の鑑賞① 古筆鑑賞の基礎知識について
第 15 回	古筆の鑑賞② 古筆の名品を鑑賞する
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ① さまざまな王朝文化について、自分の言葉で説明できる。
- ② 王朝文化の具体的なイメージを描きながら、平安時代の諸作品を読解できる。
- ③ 古筆や物語絵に関する基礎知識や、鑑賞方法を身につける。

履修上の注意

毎回、授業終了時にワークシート（講義内容の要約と、興味をもったこと、疑問に思ったことを記す）を提出していただきます。また、授業の中で、適宜受講生の皆さんの意見や感想を求めますので、主体的な学習意欲をもって授業に臨んでください。

予習復習

予習：授業時に、次回扱う内容を指定するので、辞書やハンドブックを読んで下調べする。

復習：ノートやプリントをまとめ直し、分からなかった点は教員に質問するなどして明らかにしておく。

評価方法

授業への参加態度 30%、毎回提出するワークシート 30%、期末テスト 40%を目安として総合的に評価します。

テキスト

テキスト：プリントを配布します。

参考文献：池田亀鑑著『平安朝の生活と文学』（ちくま文庫、2012 年）の他、授業時に適宜紹介します。